

ITIL® 2011 edition サービスストラテジ お詫びと訂正

書籍の内容に誤りのあったことを、読者の皆様および関係者の方々にお詫びいたします。

#	場所	誤	正
1	p44、表 3.1、 2 列目 l2	会計業務サービスのコストが	サービスのコストが
2	p70、右列 l40～ p71、左列 l1	もちろん、競争競合活動が	もちろん、競争活動が
3	p77、表 3.8、 2 列目、l10-11	インフラストラクチャ資産と技術資産の 開発	サービス・インシデントへのより良い対応 復旧活動の優先度付け
4	p108、表 3.14、 3 列目、l1	序章サービスによって	サービスによって
5	p112、右列 l2	米にある	南米にある
6	p117、左列 l25-27	BIA を実施する際には実行する必要の あるステップが幾つかある。業界には利 用できる多数のアプローチおよび手法 があるが、それらはすべて次の活動を 伴う。	分析において協働する事業と IT からリ ソースを手配する
7	p155、図 4.10、 右側の文字列	X, Y, R, A, B, S, W サービス資産は重 要成功要因である。この中で X と Y は 市場間で共通であるため、	X, Y, Z, A, B, S, W サービス資産は重要 成功要因である。この中で X と Y はター ゲット市場間で共通であるため、
8	p223、表 4.6、 1 列目 l9	小計(t)	小計(t)
9	p223、表 4.6、 7 列目 l2	u の配賦	u の配賦
10	p228、図 4.36、 最右列 中央部分	サービス保守の請求は	サーバ保守の請求は
11	p335、右列 l14	6.8.10.2 需要管理プロセス・マネージ	6.8.10.2 需要管理プロセス・マネージャ
12	p366、表 9.1、 2 列目、l17	同じものを採用する。	同じものを採用する(例えば「サービス の受益者」)。